

鈴木悦(たけき) 小説家、労働運動家。明治十九年十月十七日愛知縣生  
 れ、昭和八年九月十一日没(八六・一・九三)。明治四十二年早稲田大學  
 文學部英文科卒。雑誌『早稲田文學』等の小説を發表。植竹書院勤務、  
 朝日新聞社を経て、大正七年ヴァンクーヴァーに渡り、後を這つて來  
 り愛人の作家田村俊子と結婚。十一年民衆社を興して週刊誌『民衆』  
 を發刊、また日糸労働者の組合を指導するほど労働運動に従ふ。昭和  
 七年一時歸國の際病を獲て、翌年濱松で死去。筆名鈴木夕村。  
 譯著書、ブーデルマン作『死の歌』(譯、大正二年十月五日海外文藝  
 社『海外文藝叢書』)、コ芽生(かほ) (大正四年四月十五日水野書店)、  
 トレストイ作『全譯戰争』(平和)全二冊(島村抱月共譯、上卷・大正五  
 年十二月十七日、下卷・二十四日自費分店。再刊・上卷、下卷・昭和  
 二年六月一日(星社)等。